

Development of an Aerosol Migration Model for Source Term Evaluation in Reactor Severe Accidents

鄒, 澤人

<https://hdl.handle.net/2324/7329469>

出版情報 : Kyushu University, 2024, 博士 (工学) , 課程博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)



氏 名	鄒 澤人		
論 文 名	Development of an Aerosol Migration Model for Source Term Evaluation in Reactor Severe Accidents (原子炉過酷事故時のソースターム評価のためのエアロゾル移行モデルの開発)		
論文調査委員	主 査	九州大学	教授 守田 幸路
	副 査	東京都市大学	教授 鈴木 徹
	副 査	九州大学	准教授 劉 維

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、CDA（炉心損傷事故）気泡に伴う一連のセシウム移行挙動を詳細に解析するための簡易モデルを開発し、実験解析によってその妥当性を検証するとともに、実機の CDA 条件下でのセシウムの移行挙動解析への適用性を示したもので、原子炉工学上寄与するところが大きい。よって本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。